

中国語・グローバルコミュニケーション専攻1年生の履修について

1年生の履修について説明します。よく確認のうえ履修登録をしてください。

目次

1. 科目区分と卒業に必要な単位数
2. 履修のルールについて
3. それぞれの科目区分の履修について
4. 時間割の作り方について

1. 科目区分と卒業に必要な単位数

外国語学部を卒業するためには、次の表に示すとおり、各科目区分の修得必要単位数を充たし、合計124単位以上の単位を修得することが必要です。

【表】 修得必要単位数

科目区分等		中国語・グローバルコミュニケーション
大区分	中区分	
専攻専門科目	基礎科目(A群)	22
	基礎科目(B群)	14
	上級科目(A群)	16
	上級科目(B群)	18
	(小計)	70
卒業研究科目		8
共通科目	外国語科目	12
	スタートアップセミナー	2
	データサイエンス科目	4
	道徳科目	4
	キャリア科目	4
自由選択科目		20
合計		124

1年生では、基礎科目(A群)、基礎科目(B群)、外国語科目、スタートアップセミナー、データサイエンス科目、自由選択科目を中心に学習します。特に、基礎科目(A群・B群)は、学びの基礎となる大切な科目です。

上級科目(A群・B群)、卒業研究科目は3年次から学びます。道徳科目、キャリア科目は本格的な学習は2年次以降に始まりますが、1年次で履修できる科目もあります。

2. 履修のルールについて

(1)各セメスターに履修登録できる単位数

各セメスターに**上限 24 単位まで**履修登録することができます(スタートアップセミナーは含みません)。集中講義科目や検定による単位認定で修得した単位は上限には含まれません。

(2)順次履修

基礎科目(A群)の必修科目や外国語科目は、順次履修とって、初級レベルのⅠから順に履修しなければならないというルールがあります。順次履修の必要な科目は、科目名にⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのナンバリングがされています。例えば、外国語科目でドイツ語を選択した学生はドイツ語Ⅰ→ドイツ語Ⅱ→ドイツ語Ⅲというように順番に履修します。原則、Ⅰの単位修得(成績評価がS~Cである)ができなければ、Ⅱを履修することはできません。Ⅱ以降も同様です。

(3)仮進級

順次履修が必要な科目には仮進級という救済制度があり、単位取得ができなかったが成績評価がDであった場合に限り、次の段階の科目の履修を認めています。例えば、中国語基礎演習Ⅰの成績がDの場合、仮進級となり、中国語基礎演習Ⅰの成績評価がいったん保留され、翌セメスターにⅡを履修することができます。

す。仮進級となった翌 Semester で、II の単位を修得できれば、保留となっていた I の単位も認定されます（これを「追認」といいます）。仮進級後、II の単位が修得できなかった場合は、I・II ともに単位は修得できていない状態になりますので、I の科目を再度履修することになります。

3. それぞれの科目区分の履修について

<用語の説明>

区分…必修と記載されている科目は、必ず単位を修得しなければなりません。

単位数…修得できる単位数です。1 単位の科目、2 単位の科目、4 単位の科目があります。

コマ数…1 週間あたりの授業の回数です。「1」の科目は週 1 回、「2」の科目は週に 2 回授業があります。

(1) 専攻専門科目

1・2 年次では、基礎科目(A群)、基礎科目(B群)を履修します。

基礎科目(A群・B群)は、3 年次に進級する際に所定の単位を修得している必要がありますので、しっかり取り組み、計画的に単位を修得してください。

3 年次に「専門ゼミナール A・B」及び上級科目(B群)を履修するためには、基礎科目の以下の単位数を修得していなければなりません。

基礎科目(A群):22 単位 (仮進級する場合は 16 単位)

① 基礎科目(A群)

1・2 年次で合計 22 単位を取得します。1 年次は各 Semester に 4 科目(5 単位)、2 年次は各 Semester に 5 科目(6 単位)の必修科目があります。必修科目は順次履修です。

中国語基礎演習 I・II・III・IV は、各 Semester で履修する A~D の 5 科目、A~E の 6 科目のすべてに合格する必要があります。例えば、中国語基礎演習 I の A~D の科目にすべて合格すると、演習 I の 5 科目すべての単位が認定され、1 科目でも不合格になると、演習 I の 5 科目すべての単位を修得することができなくなります(これを「一括認定」といいます)。

1年次 春 Semester				
科目名	区分	単位数	コマ数	備考
中国語基礎演習 I A	必修	2	2	順次履修 一括認定
中国語基礎演習 I B	必修	1	1	
中国語基礎演習 I C	必修	1	1	
中国語基礎演習 I D	必修	1	1	

1年次 秋 Semester				
科目名	区分	単位数	コマ数	備考
中国語基礎演習 II A	必修	2	2	順次履修 一括認定
中国語基礎演習 II B	必修	1	1	
中国語基礎演習 II C	必修	1	1	
中国語基礎演習 II D	必修	1	1	

3 年次に上級科目(A群)を履修するためには、基礎科目(A群)の必修科目の単位をすべて修得していなければなりません。

②基礎科目(B群)

1・2年次で合計 14 単位を修得します。海外留学に行かなかった場合は、「海外留学基礎研究」を除く下記の8科目(16単位)のなかから科目を選び、14単位を充足させます。(これを「選択必修」と呼びます)1年次で履修できるのは、配当年次が「1」の科目です。「2」の科目は、2年次以上で履修できます。授業科目名に「A・B」等のアルファベットがついているものは、順次履修ではありませんので、原則アルファベットの順によらず履修でき、またAを履修せずにBだけを履修することもできます。

科目名	単位数	配当年次	コマ数	備考
現代中国入門A・B	各2	1	1	
中国史入門	2	1	1	
中国事情	2	2	1	
中国語学概説A・B	各2	2	1	
中国文化概説A・B	各2	2	1	
海外留学基礎研究A～G	各2	2	-	※1

※1 海外留学基礎研究A～G は、留学による単位互換用の科目です。

(2)共通科目

各科目区分の決められた単位数を充たすように、履修してください。2年次や3年次から履修できる科目もあります。3年次から履修できる科目は履修案内の科目一覧を確認してください。

各科目区分で余分に修得した単位は、「自由選択科目」としてカウントされます。

①外国語科目

必要単位数 12 単位は「English for Communication I～IV」、「English for Chinese Studies A・B・C・D」を履修します。

科目名	単位数	配当年次	コマ数	備考
English for Communication I・II	各2	1	2	順次履修
English for Communication III・IV	各2	2	2	
English for Chinese Studies A～D	各1	3	1	

外国語科目には、上記科目以外にも外国語科目を本格的に習得したい人のために設けられた特別クラス(〇〇語特別演習)や、夏セッション、春セッションに短期留学(海外語学研修)もあります。

②スタートアップセミナー

4月上旬に実施される「スタートアップセミナー」に参加し、単位を修得します。

科目名	区分	単位数	配当年次	コマ数	備考
スタートアップセミナー	必修	2	1	集中講義	履修登録は必要ありません

③データサイエンス

必修科目「情報リテラシー」(2単位)と、それ以外をあわせて4単位履修します。2年次から履修できる科目もあります。

科目名	区分	単位数	配当年次	コマ数	備考
情報リテラシー	必修	2	1	1	クラス分けがあります
AI ビジネス入門	選択	2	1	1	
統計学入門	選択	2	1	1	
PC 実務演習	選択	2	1	1	
情報技術活用	選択	2	1	1	
マルチメディア活用	選択	2	2	1	
Web オーサリング	選択	2	2	1	
データ解析の基礎	選択	2	2	1	

④道徳科目

2年次に必修科目を履修します。

科目名	区分	単位数	配当年次	コマ数	備考
道徳科学 A・B	必修	各2	2	1	
SDGs と道徳	選択	2	1	集中講義	

⑤キャリア科目

卒業までに、4 単位を修得します。3年次から履修できる科目もあります。

科目名	単位数	配当年次	コマ数	備考
麗澤スピリットとキャリア	2	1	1	
キャリア形成入門	2	2	1	
グローバルキャリア研究	2	2	1	
基礎・学際演習 A・B	各2	2	1	
インターンシップ A・B	各1	2	-	単位認定

(3)自由選択科目

卒業までに、合計 20 単位を修得します。

共通科目の教養科目や他専攻・他学部の科目を履修した場合は、「自由選択科目」の単位としてカウントされます。また、各科目区分で余分に修得した単位も、「自由選択科目」の単位になります。

4. 時間割の作り方について

「履修登録」をするためには、「どの科目を」「いつ」履修するかという「自分の時間割を作る」ことが必要です。教務・国際交流課サイトに掲載されている履修オリエンテーションの動画と資料を確認し、自分の時間割を作りましょう。

<時間割の作り方>

1. 履修案内、「履修について」(今見ている資料)から必修科目とそのシラバス、開講曜日時限(時間割)を確認する。※時間割は履修案内からダウンロードする。
2. 基礎科目 A 群のクラス分けのある科目と情報リテラシーについて教務・国際交流課サイトでクラス分けを確認する。
3. 必修科目以外の科目を履修する場合は、シラバスと曜日時限を確認し、必修科目と重ならない時間帯の科目を選ぶ。
4. 履修登録の上限単位数を超えていないか確認する。

履修登録期間に「どの時間に」「どの科目」を履修するかを、ポータルから履修登録してください。**履修登録期間を過ぎると履修登録が出来なくなってしまうので十分ご注意ください。**

下記のページをブックマークしておくことをお勧めします。(麗澤メールアカウントでログインが必要)

教務・国際交流課サイト>オリエンテーション・履修登録>[履修登録で必ず使うサイトリンク集](#)

<中国語・グローバルコミュニケーション専攻1年生春 Semester 時間割モデル>

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限		中国語基礎演習 I A		情報リテラシー	心理学
2時限	現代中国入門A	中国語基礎演習 I B		中国語基礎演習 I A	
3時限	中国語基礎演習 I C	ENG. FOR COMM. I	中国史入門	中国語基礎演習 I D	ENG. FOR COMM. I
4時限					
5時限					

※時間割は変更の可能性があります。最新の時間割を必ず履修案内で確認してください。

上記の時間割モデルには、基礎科目(A群)、共通科目の必修科目と基礎科目(B群)の選択科目を中心に記載しています。空いているコマに興味のある共通科目や自由選択科目を追加して、時間割を組んでみましょう。

<単位数のカウントの仕方>

情報リテラシーは、単位数が「2」、コマ数が「1」の科目です。週1回授業を受け、合格した場合に2単位を得ることができます。

ENG. FOR COMM. I は、単位数が「2」、コマ数が「2」の科目です。週2回授業を受け、合格した場合に2単位得ることができます。週1回だけ授業に出て、1単位のみを取得することはできませんので、必ず週2回授業に参加してください。

以上